



Title	実践者の言語データ解析が導くハイブリッド組織の構造とメカニズム
Author(s)	加藤, 知愛
Description	日本NP0学会第24回研究大会、2022年6月11日(土)~12日(日)、武蔵大学(東京都)、オンライン開催
Citation	日本NP0学会第24回研究大会報告概要集, 46-46
Issue Date	2022-05
Doc URL	<a href="https://hdl.handle.net/2115/87424">https://hdl.handle.net/2115/87424</a>
Type	conference paper
File Information	sum24_Katoh.pdf



## ■ 実践者の言語データ解析が導くハイブリッド組織の構造とメカニズム

加藤 知愛(北海道大学)

## 【研究の目的】

広域複合的な自然災害に加えて、コロナ感染症危機に直面する今日、それらの危機を管理し、地域コミュニティの暮らしを守るためには、パブリックセクター、プライベートセクター、ソーシャルセクターの別を超えて、それらの役割を兼有できる組織(ハイブリッド組織)が必要である。地域型の複合企業-地域コーポレーションは、パブリックセクター、プライベートセクター、ソーシャルセクターそれぞれに生じる複合的なニーズに応えるビジネスモデルを立案して実施し、それらの成果を中長期的に統合する機能を有する。地域コーポレーションを体現するグリーンファンドグループは、アドボカシー、エネルギービジネス、市民啓発活動を実施し、石狩市におけるコミュニティウィンドファームを含む31基の風力発電事業を推進している。

ハイブリッド組織は、どのように発生し、成長するのか。そのメカニズムを解明するためのアプローチは2つある。

(1) 公共政策、民間企業の努力、市民の活動の境界線上にある制度的な領域や分野を分析すること、(2) 時間的なトラックレコードを有し、社会的な文脈と社会の複数レイヤーに適応し、制度を縦断して活動するハイブリッド組織の具体的な経験を描写する(illustrate)ことである(Jan-Erik Johanson, Jarmo Vakkuri: 2021b)。

著者は、これまでに、トラックレコードをもつ日本の地域型の複合企業-地域コーポレーションの成功要因[1. 社会変革ビジネスモデル、2. 非営利活動と営利事業を併有する経営形態、3. 政策形成と地域ビジネスの統合機能、4. セクターを横断するネットワーク]を明らかにしてきたが、これらは、前者の方法論による、ハイブリディティの解明に該当する。本研究では、これらの分析データと、実践者のインタビュー言語データを統合して、実践者の言葉の意味を紐解くことにより、日本の地域コーポレーションがハイブリディティ組織となるプロセスとアプローチを明らかにする。これは、(2)の方法論によるハイブリッド組織の解明に該当する。

## 【研究の方法】

2016年から2021年にかけて、地域コーポレーションの実践者から集積した言語データを活用して、グランテッド・セオリー・アプローチによる地域コーポレーションの構造分析を、2つのレイヤーで行う。

## 【分析結果】

## ◆1次解析

地域コーポレーションの実践者の言葉を集約して、4つのコード(1. 個人を特定する言葉: word、2. 組織を説明する概念: propaty、3. 言葉の意味: dimention) - に分類すると、2つの行動の特徴(1. 社会的使命を伝達する、2. 新しい経済の形を創出する)が明らかになった(カテゴリー関連図I)。

## ◆2次解析

1次解析から表出した2つの特徴をモジュール化すると、以下の2つの現象が明らかになった。(1) 実践者の人生観と、組織の社会的使命が、個人の内面で関連づけられている。実践者は、普遍的な概念や多数が共有できる概念を用いて、人と組織に社会的使命を伝達し、実践を前進させるとともに地域社会の意思形成を促進している。このバックグラウンドには、「社会的使命の伝達メカニズム」がある。(2) 実践者は、「新しい経済」の概念を、既存の社会構造と関連づけて認識し、資金を調達し、長期的な地域社会の意思と整合するビジネスを実施している。

これらの2つの現象(実践者が、社会的使命を伝達し、かつ新しい経済の形を創出する)の関連性を描写すると、「社会を改良する9つのメソッド」が明らかになった(カテゴリー関連図II)。

## 【結論】

1次解析、2次解析の結果を統合して、地域コーポレーションの組織構造に図形化(カテゴリー関連図III)した上で、その関連性を描写すると、地域コーポレーションがハイブリディティ組織になるプロセスとアプローチを概念化することができる。

## 【含意】

実践者の言語データ解析が導くハイブリッド組織の構造とメカニズムは、ハイブリディティの領域で新しい経営形態を立ち上げ、産業創造と地域社会の形成でインパクトを創出したいと願う、非営利組織、営利組織の経営戦略モデルとなる。

## 【参考文献】

Jan-Erik Johanson, Jarmo Vakkuri (2021) "Hybrid Governance, Organisations and Society Value Creation Perspectives" Routledge.